

EA345AD-21B (50Hz)、-21C (60Hz)
EA345AD-22B (50Hz)、-22C (60Hz)
ビルジポンプ

<仕様>

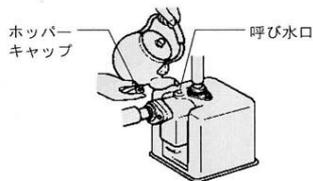
品番	AD-21B	AD-21C	AD-22B	AD-22C
電源	AC100V			
周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
出力	100W		200W	
消費電力	205W		340W	
吸上高さ	3m		6m	
全揚程	4m		7m	
銘板表示揚水量	60L/分(全揚程3mの時)		95L/分(全揚程4mの時)	
フランジ口径	吸込管 30mm(1 $\frac{1}{4}$ B)			
	吐出管 30mm(1 $\frac{1}{4}$ B)			
重量	16kg		20kg	

各部の名称と使いかた

ホッパーキャップ

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

- 呼び水なしで運転しないでください。
- 電気部品に水がかからないように注意してください。
- 呼び水量は約1.3Lです。



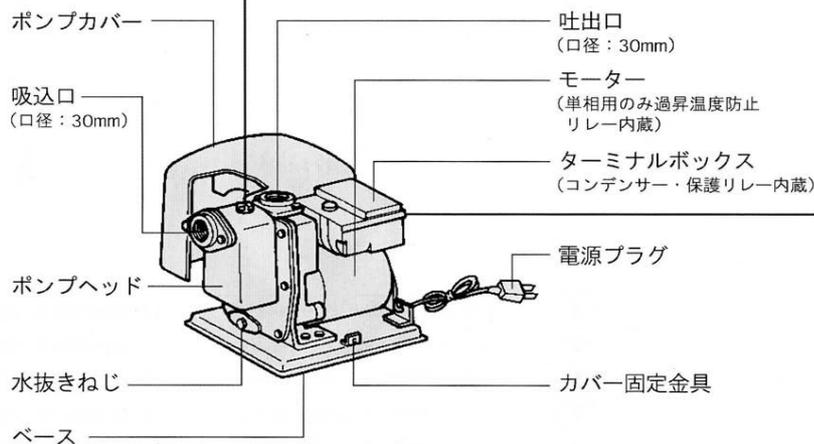
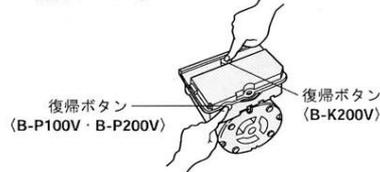
保護リレー

モーターが過負荷になったときに、モーターを止めて保護します。

保護リレーが動作したとき

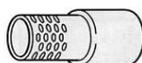
動作してから約10分後に、復帰ボタンを押してください。

- 頻繁に動作するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



付属品

ストレーナー



- 吸込管の先端に接続します。

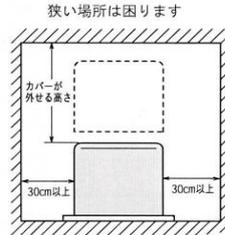
据え付け前の確認

1 電源・周波数の確認

- 使用するポンプの電源と合っているか確認してください。
 単相用ポンプ……単相100V
 3相用ポンプ……3相200V
- 周波数は、50Hzまたは60Hzいずれか専用ですから確認してください。

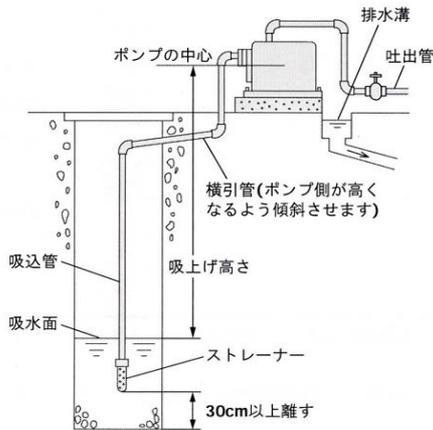
2 据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- ポンプはできるだけ水源の近くに取り付けてください。
- 横引きの距離(水源からポンプまで)は吸上げ高さ(吸水面からポンプの中心まで)によって制限されます。
 吸上げ高さは、湯水時の水位低下を考えて決めてください。



吸上げ高さによる横引き管の長さ制限

形名	B-P100V			B-P200V・B-K200V		
吸上げ高さ(m)	3	2	1	6	5	4
横引きを許せる長さ(m)	2	5	9	0.5	1	2

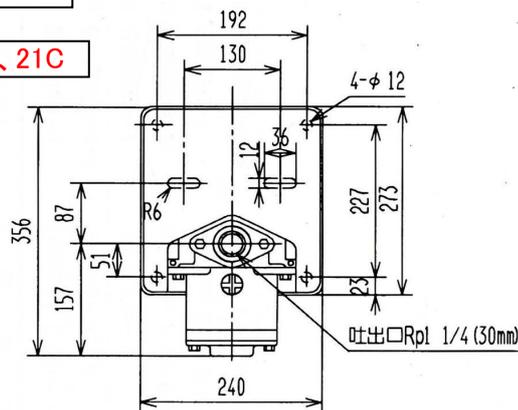


3 汚水の確認

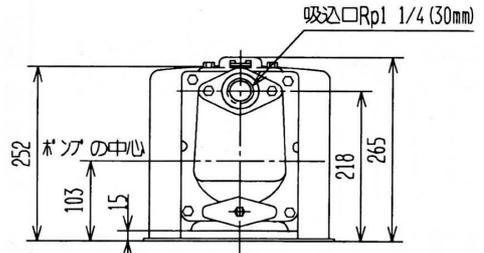
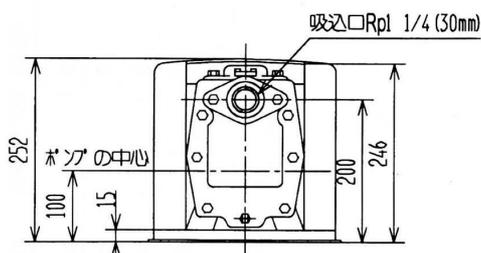
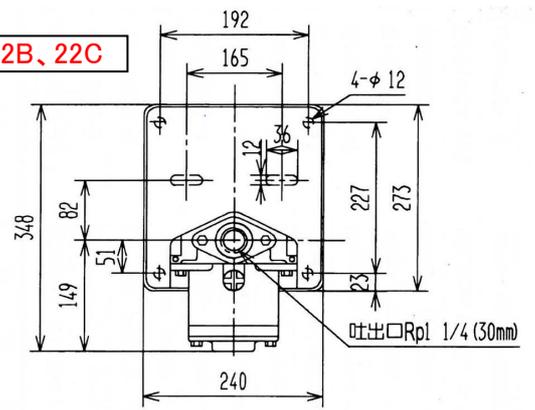
- このポンプは池の水など汚れた水のくみ上げができます。ただし、土砂などの固形物を多く含む水や、長い繊維質のものを含む水には使用できません。
- 汚水くみ上げに使用される場合は、吸上げ高さは3m以内にしてください。

寸法図

AD-21B、21C

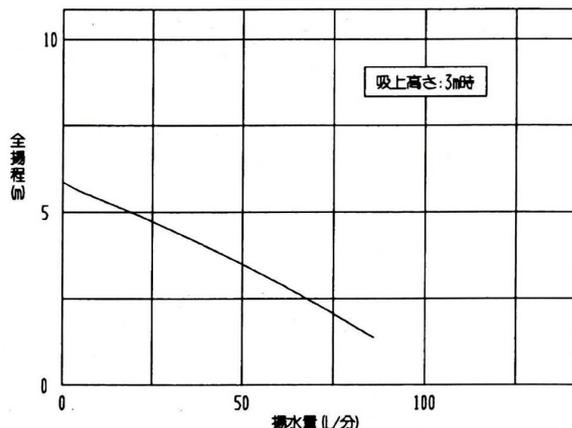


AD-22B、22C

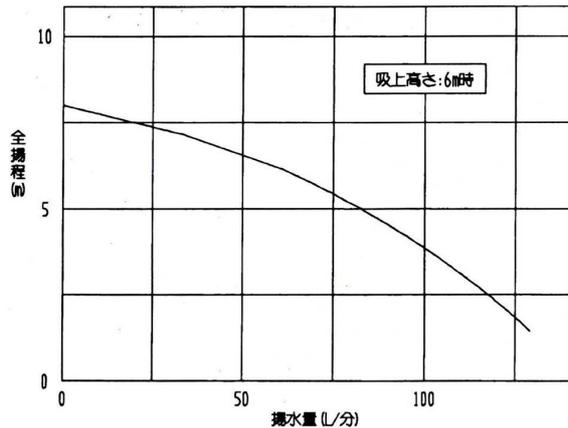


揚水性能

AD-21B、21C



AD-22B、22C



配線工事について

警告



配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

配線工事

●誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

1 アースと漏電遮断器を取り付けてください。

警告



アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。

アース接続

●故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、必ず取り付けてください。(取り付けは有料です) アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工士が行います)が必要です。工事の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

●アース線の接続について

- ・D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。
- ・既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足していることを確認してから接地してください。

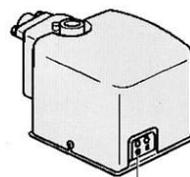
ご注意

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。(法令などで禁止)

- ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)

●漏電遮断器について

- ①漏電遮断器は◇または▽マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、電路の定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
- ②既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。



アース接続ねじ

2 電源電線の取り付け

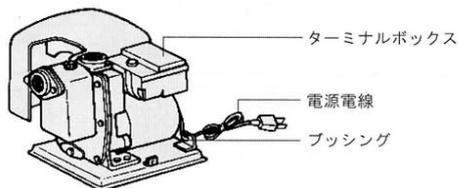
●単相用ポンプのとき

専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

●3相用ポンプのとき

電源電線は付属されていませんので、次のように結線してください

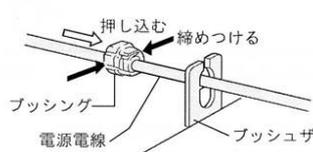
- ①電源電線は「600V 二種(耐熱)ビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル HVCT0.75mm²」を使用してください。電圧降下を避けるため、できるだけ短くしてください。
- ②ポンプとの接続はターミナルボックス内の電源電線接続端子に接続してください。
 - 電源電線はターミナルボックスカバー裏面の配線図に従い、赤、白、黒を合わせて接続してください。
 - 端子部に張力がかからないよう付属のブッシングで固定してください。
 - 電源側には、ブレーカーを設け、ブレーカーの端子部に接続してください。



ターミナルボックス

電源電線

ブッシング



押し込む

締めつける

ブッシング

電源電線

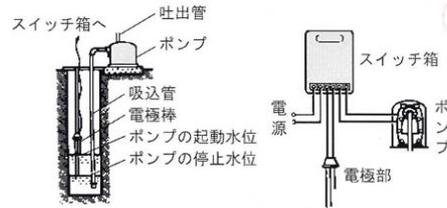
ブッシュザ

配線工事について(続き)

ご注意

このポンプを自動運転させるときは、水槽の水位の変化によってポンプを自動的に運転または停止させる液面自動制御器が必要です。

液面自動制御器とポンプとの結線例(单相の場合)は図の通りです。



運転について

1 試運転

●ポンプに呼び水をしないうちに運転することは禁物です。
〔呼び水のしかたは、「各部の名称と使いかた」(4ページ)を参照してください〕

●電源が入っていないことを確認してください。

- ①ホッパーキャップを外し、呼び水を十分入れたあと、ホッパーキャップをしっかりねじ込みます。
- ②吐出管側のバルブを1か所開きます。
- ③電源を入れてください。

※数分たっても揚水しない場合は、呼び水が不足している場合がありますから、電源をいったん「切」にして再び①項の呼び水をしてください。

2 運転状態の確認

●異常なく運転を開始したら、バルブを開閉し、ポンプの運転状態や漏水個所がないか確認してください。

●このポンプと液面自動制御器を併用する場合は、槽内の水位がポンプ起動水位まで上昇しているか確かめて、スイッチを入れてください。
水位がポンプ起動水位以下ですと、スイッチを入れてもポンプは運転しません。

●ポンプ内の水を排水しないかぎり、呼び水は最初の1回だけで十分です。
万一、逆止弁が閉塞不良になっても呼び水なしで自吸できる構造です。

3 3相ポンプのとき

●モーターの回転方向とポンプヘッドに示された矢印の方向が一致しているか確認してください。

